平成26年度　第一回　事業評価監視委員会

資　料　－2

港湾事業　再評価

酒田港　外港地区国際物流ターミナル整備事業

平成26年7月25日
国土交通省　東北地方整備局

事業名	酒田港外港地区 国際物流ターミナル整備事業	事業種別	国際物流ターミナル

事業の目的

酒田港外港地区に国際物流ターミナルを整備することにより、港湾利用企業の物流効率化を図るとともに、避難水域を確保し、沖合航行船舶の海難事故の減少を図る。

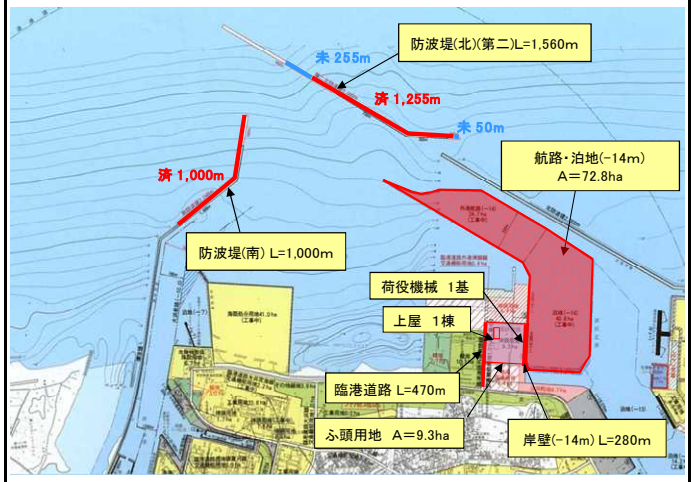
事業の概要

港名	酒田港	港格	重要港湾
対象施設	岸壁(−14m) 280m 航路・泊地(−14m) 72．8ha 防波堤(南)・(北)(第二) 2，560m 臨港道路 470m 荷役機械　1基、ふ頭用地　9．3ha、　上屋1棟		
事 業 化	昭和53年度		

今回評価（H26）			前回評価（H23）	
全体事業費	執行済み額	進捗率	全体事業費	進捗率
777億円	677億円	87%	779億円	80%

【事業実施位置図】

再評価





※　整備完了：赤
　　整備未了：青

1. 事業の必要性に関する視点

◆酒田港では、バルク輸送船舶の大型化への対応や、背後企業の生産動向よりコンテナ貨物の増加などが見込まれることから、国際物流ターミナルの整備が必要となっている。
◆防波堤整備により静穏水域を確保することで、荒天時における安全な避泊を行うことが可能となり、沖合を航行する船舶の海難事故減少等、安全性の向上に寄与する。





バルク貨物（原塩）荷役状況（H20.11）



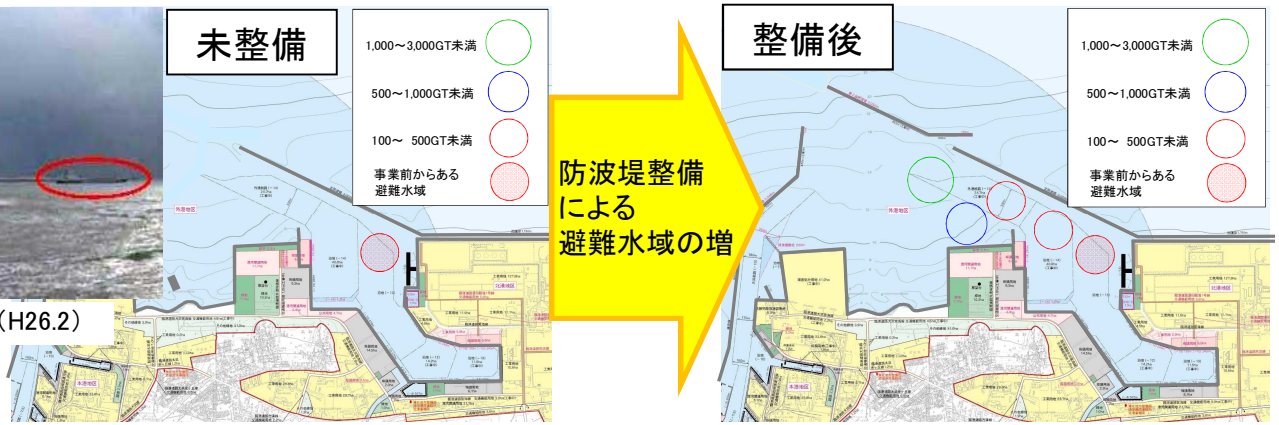
外港地区コンテナ荷役状況(H25.6)



酒田港周辺での海難事故（H7.11）
（山形県温海海岸ロシア船座礁）
波浪状況　最大波高：11.0m
船舶諸元　船　　長：110m
トン 数：3,250トン



酒田港内避難状況（H26.2）



年次	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
酒田港沖 海難事故件数	18	5	12	10	13	11	11	13	12	8

2. 前回評価との主な相違点

①事業費の変更

（単位：億円）

施設名等	前回評価（H23）	今回評価（H26）	備　考
岸壁(−14m)	75	75	
航路・泊地(−14m)	53	50	浚渫方法の変更による減
防波堤(南)・(北)(第二)	623	623	
臨港道路	1	1	
ふ頭用地等	27	27	
合　計	779	777	

※端数処理のため、内訳の合計は一致しない。

②便益の変更

項　　目		前回評価（H23）	今回評価（H26）	備　考
輸送便益	コンテナ貨物	8,315TEU	18,000TEU	背後企業へのヒアリングにより、貨物需要の見直し
	原塩	9.3万トン	8.7万トン	〃
避泊便益	海難における損失回避	4隻	4隻	避泊可能水域の設定に変更無し

③前回評価における費用対効果分析

事業全体	1.7
残事業	10.7